

カワゲラの仲間

カワゲラの仲間の幼虫は、①肢(あし)が6本ある、②翅包(しほう：成虫になって翅-はね-になるところ)がある、③尾はすべて2本、④エラが腹部側面にない(別のところにあるか、どこにもない)、などの特徴がある。
成虫は、翅を背の上で重ねるのが特徴。



カワゲラの仲間の幼虫(左上・左下)と成虫(右)

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ
ウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシタカ

アミメカワゲラ科の仲間

Perlodidae sp.

アミメカワゲラ科

名前の由来

アミメは成虫の翅のスジが網目状になっているためと思われる。カワゲラは不明。漢字名：網目川虻

形態的特徴

10～20mm前後で黄色である。下唇側舌は内側に強く曲がる。エラは背面からは見えない(実際にはないか、下唇基部あるいは各肢の基部に指状)。

類似種と見分け方：ミドリカワゲラ科。

ミドリカワゲラ科の下唇側舌は真っ直ぐ伸びる。

生息環境・分布

成虫

清潔な中・上流部に生息する。

環境省・国交省水質調査：「きれいな水」の指標(カワゲラ)

分布：国外分布は、不明。国内では、九州以北に分布。北海道内では普通に分布。十勝地方では普通に分布。



アミメカワゲラ科の仲間(幼虫)

両写真とも撮影：宮下 力

食性・他の生物との関わり

ユスリカ幼虫など他の微小水生動物を餌とする。魚類などの餌となる。

繁殖生態・寿命

不明。



アミメカワゲラ科の仲間(成虫)

興味深い話

- アミメカワゲラ類はマス類によく捕食されることで有名である。
- 幼虫は水中で成長している間に産まれた場所から徐々に流されて下流で羽化する。そのまま成虫が下流で産卵をすると上流にカワゲラはいなくなってしまうので、成虫は遡上飛行を行い、上流で産卵する。
- カワゲラのいくつかの種類では交尾前にドラミングを行う

うことが知られている。ドラミングは腹を木の枝や草にたたきつけて音を出して行う。オスのドラミングの振動が伝わる距離にメスがいると、メスは自らのドラミングで答える。そして交互にドラミングを繰り返しながらオスははだいにメスに近づき交尾に至る。このドラミングは種類によってリズムが異なり、同じ種類であっても地域によって違いがある可能性が指摘されている。

配慮事項

汚濁に弱いため、水質を維持する必要がある。成虫の生息場所となる河岸の樹林などの存在も重要である。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
卵期・幼虫期	■					■		■					
成虫期						■							

参考文献

「アングラーのための水生昆虫フィールドノート」宮下力 出版文化社 2000
「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995

「水生昆虫アルバム」島崎憲司郎 フライの雑誌社 1998
「川の生物図典」財団法人リバーフロント整備センター 1996
「水辺の昆虫」今森光彦 山と溪谷社 2000